

# みたけ夢だより

2月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

## 「書初め」

副校長 安村 緑子

冬休み明け、6組、1、2年生は各教室で、3～6年生は体育館で書初めを行いました。地域の方にお手本を書いていただいたり、指導に入っていただいたりしました。校内書写展（1月24～26日）で、各クラス教室前周辺の廊下に子どもたちの作品が掲示されました。授業参観に来校された際にご覧になった方も多いと思います。

私が小学生のころ、やはり書初めの練習が冬休みの宿題に出されました。その宿題にあまり乗り気でない私に父が「1月2日に字を練習すると上手になるよ。」と声をかけてくれました。父の言葉を信じて練習してみるとなんとなく上手になった気がした思い出があります。

なぜ「1月2日に字を練習すると上手になる」のでしょうか。今さらですが、気になって調べてみました。

昔、1月2日が「仕事始め」とされていて、農家は作物を作り始め、商家は初荷を出し、宮中や文人は「書初め」を行ったそうです。江戸時代になり寺子屋で文字を習うようになり、一般の人も「書初め」を行うようになったということです。「書初め」で書いたものを神棚などに納め、神様に字が上達することを願ったそうです。ここまで調べてみて、父の言っていたことと違うと思い、さらに調べてみました。

先日、みたけ台中学校で地域の「どんど焼き」が行われました。この「どんど焼き」の炎で1月2日に神様に納めた自分の字を焼くことで「字が上達する」と言われたそうです。父の言っていたことは、全く違うという訳ではなかったようです。

テレビのクイズ番組で、「知っていそうで本当はあまりよく知らないこと」や「語源をたどると実はこういうことだった」という話題が出てきます。そのような話題を耳にするたびに、物事にはそれぞれ意味があり歴史があるのだなあと考えさせられます。



箏・尺八出前教室（6年）

1月25日（水）に青葉区三曲協会の方々に来ていただきました。子どもたちは、演奏を聴いた後、尺八と箏を弾く体験をしました。

学校は、今年度を振り返り、来年度のことを検討していく時期になりました。お忙しい中ご協力いただいた保護者の方からの学校評価アンケートや「みたけ台小学校学校づくり懇話会（まち懇）」の皆様のご意見等を真摯に受け止め、来年度の学校運営について考えていきたいと思っています。なお、学校評価アンケートの結果につきましては、今回の学校だより中ページに掲載しておりますので、ご覧ください。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。